

2025（令和7）年度入学試験問題

世界史

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 試験時間は60分です。
- この問題の本文は全部で24ページです。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
 （機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。）
 - 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下マーク欄を正確にマークすること。
 マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

- 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

I 以下の朝鮮半島の歴史に関する文章を読んで、〔設問1〕～〔設問20〕に答えなさい。解答は解答欄 1 ～ 20 にマークしなさい。

朝鮮半島は、ユーラシア大陸の東にあり、三方を海に囲まれた半島である。その東側は日本海、西側は黄海に面している。朝鮮半島から見ればこれらはそれぞれ、東海、西海と称されている。朝鮮半島の南には島じまが点在する多島海があり、⁽¹⁾古くから対馬や九州と結ぶ航路が通じていた。また、中国と日本との間にも航路が開かれていた。

ユーラシア大陸と朝鮮とは鴨緑江、豆満江という2つの大きな河川によって隔てられている。この河川の源の一つとして白頭山がある。ここは古くから神話などの舞台となり、崇拜の対象ともなってきた。朝鮮半島に成立した諸国家は、しばしばこの半島の領域を超えて中国の東北地方や沿海州の領域にまで版図を広げた。⁽²⁾

古代の朝鮮半島に暮らす人びとは、大きく2つの系列に分かれるというのが最近の見方である。その一つは、狩猟、遊牧、⁽³⁾農耕などとも関わり合いを持っていた北方系の人びとであり、夫餘や濊（穢）などの名で呼ばれている。もう一つは農耕文化との関係を持った南方系の人びとである。

朝鮮の古文獻に現われる国家には、檀君朝鮮、箕子朝鮮、衛氏朝鮮などがあるが、檀君と箕子は神話上の人物だと考えられている。衛氏朝鮮については、次のような記録がある。朝鮮の王である準は秦に服属していたが、秦末の争乱のなかで多くの人びとが朝鮮に逃れてきた。そのうちの一人である衛満は準を攻めて王となり、現在の平壤の付近に都を置いた。しかしその後、衛氏朝鮮は前2世紀に滅亡した。⁽⁴⁾衛氏朝鮮を滅ぼした中国の皇帝は、衛氏朝鮮の支配下にあった地域に郡を設置し、これを支配下に置いた。⁽⁵⁾

朝鮮半島より北方の地域においては高句麗がしだいに発展した。対外的には五胡十六国などとも抗争する一方、国内では4世紀に官位制を整備し、寺院を建て、書物の編纂なども行なった。⁽⁶⁾しかし、6世紀に入ると王位継承をめぐる争いや対外戦争により衰退した。⁽⁷⁾

朝鮮半島の中南部では百済がおこった。⁽⁸⁾4世紀後半には伽耶諸国などと通交を

結び、東晋にも使節を送るなどして支配の安定に努めた。しかし、朝鮮半島内の戦乱に敗れた百済は475年に都を失い、王は殺された。その息子の文周は南に逃れ熊津を都として百済を再興したが、政情は安定せず反乱が続いた。その後501年に武寧王が即位して国内の反乱を鎮圧した。この時期、対外的には中国に朝貢するなどして、国際関係の安定化を推進した。512年には朝鮮半島南方に侵攻し、領土を広げた。

百済には384年に東晋から魔羅難陀という僧侶を通じて仏教が伝来したとされている。翌年には寺院が建造されたといわれるが、その遺跡は確認されていない。その後も多くの寺院が建造され、その様式や仏教関連の書物は日本へも伝来した。

朝鮮半島の東南部に成立したのは新羅である。初代の王とされる赫居世は紀元前1世紀に即位した。その後新羅はたびたび中国に朝貢するとともに、近隣の高句麗に服属しながら内政を整備していった。5世紀末頃に新羅は月城を居城とし、後にその地域には瞻星台と呼ばれる天体観測施設も建造された。

500年に即位した智証麻立干は正式に国号を新羅と定め、6世紀半ばの真興王の時代には高句麗や百済とともに朝鮮半島内での強国となった。また新羅は多くの寺院や仏像を作った。751年に金大城が創建したと言われる石窟庵はその代表例の一つである。

高句麗や百済が滅亡した後の698年、高句麗の遺民らが中心となって建国したといわれる渤海は、中国の東北地方から沿海州、朝鮮半島の北部に至る広い領土を持ち、唐にも遣使して国力の安定を図るとともに、唐の都をモデルにした上京を造り、律令制を整備した。また、日本にも使節をたびたび派遣するなど、周辺諸国との交流や交易も盛んであった。こうして渤海では「海東の盛国」と称される時代が続いたが、926年、東北アジアに台頭した契丹（キタイ）の侵攻により滅亡した。

一方、8世紀の唐では社会変動や反乱などによって中央の統制は衰えた。907年、唐を滅ぼした節度使の朱全忠は、18を建国した。この頃の中国では絵画の技法や文学の表現などにおいて新しい文化が芽生えつつあった。

朝鮮半島では918年に王建が高麗を建国し、現在の開城に都を定めた。当初王

権は不安定であったが、中央集権化と官僚機構の整備によりその強化が図られた。949年、第4代国王の光宗は全国的な土地測量を実施し、科挙を整備した。また、対外的には後周と宋から相次いで冊封を受けるなどして、対外情勢の安定を図った。文化面では仏教が興隆し、高麗版の『大蔵経』の版木を作成するなど一大事業を行なった。磁器の生産も盛んで、俗に「高麗青磁」と呼ばれる繊細な製品を生み出した。

しかし12世紀に入ると、国内では1126年の李資謙の乱と1135年の妙清の乱という2つの大乱が起²⁰こり、高麗の国内統治は動揺した。対外的にも、高麗の北方で勢力を強めた金と戦って高麗は敗れ、後に臣属することとなる。

〔設問1〕下線部(1)に関連して、日本と朝鮮半島や中国とのかかわりについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ①奴国は前漢に朝貢し、光武帝から印綬を受けた。
- ②卑弥呼は北魏に使者を送り皇帝から「親魏倭王」の称号を得た。
- ③6世紀なかごろには広隆寺の半跏思惟像などの仏像に象徴される天平文化とよばれる仏教文化が栄えた。
- ④838年、日本は最後の遣唐使を唐に送った。

〔設問2〕下線部(2)に関連して、ロシアが沿海州を獲得した条約はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ①アイグン条約 ②ネルチンスク条約 ③キャフタ条約 ④イリ条約
- ⑤北京条約

〔設問3〕下線部(3)に関連して、古代の農耕や、これと関連する文明・文化についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **3** にマークしなさい。

- ①ティグリス川とユーフラテス川に挟まれたメソポタミア地方では、灌漑により農耕が行なわれた。
- ②古代エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫が農耕に適した肥沃な土壌を生み出したが、人びとは太陰暦によって氾濫を予測した。
- ③西北インドのパンジャーブ平原を中心としたインダス川流域では、麦作などにもとづくインダス文明が栄え、モエンジョーダロ等の都市には王のための壮大な宮殿が建設された。
- ④東アジアでは、主として黄河中・下流域の黄土台地では米、長江流域でアワやキビが栽培され、黄河中流域には彩陶を特色とする竜山文化がおこった。

〔設問4〕下線部(4)に関連して、秦の王の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **4** にマークしなさい。

- ①李斯 ②政 ③桓公 ④蘇秦 ⑤文公

〔設問5〕下線部(5)に関連して、前2世紀に起こった出来事はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- ①クシャーナ朝の成立
- ②チベットでのソンツェン=ガンボの即位
- ③チャンパーの成立
- ④呉楚七国の乱
- ⑤冒頓単于の即位

〔設問6〕下線部(6)に関連して、この皇帝の時代の出来事として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **6** にマークしなさい。

- ①均輸・平準による物価調整が行なわれた。
- ②五銖銭が鑄造された。
- ③部下の甘英が大秦国に派遣された。
- ④郷举里選が実施された。

〔設問7〕下線部(7)に関連して、中国が征服した地に置いた郡についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **7** にマークしなさい。

- ①秦は南方系の人びとが住む中国南部を征服して、現在のフエにあたる地域に南海郡を置いた。
- ②衛氏朝鮮が滅ぼされた後、朝鮮半島には玄菟郡など4郡が置かれた。
- ③河西地方に置かれた4郡の一つの敦煌では、後に巨大な石窟寺院が造営された。
- ④前漢は南越を滅ぼして日南郡など9郡を置いた。

〔設問8〕下線部(8)に関連して、高句麗についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **8** にマークしなさい。

- ①高句麗は中国東北地方の南部におこり、4世紀初めに朝鮮半島北部へ進出した。
- ②391年、高句麗の最盛期を築いた広開土王が即位した。
- ③7世紀初め、高句麗は隋の煬帝による遠征軍の攻撃を受けた。
- ④668年、高句麗は百済と連合した唐の遠征により滅亡した。

〔設問9〕 下線部(9)に関連して、五胡十六国時代に王朝を建てた五胡の名称として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **9** にマークしなさい。

- ①羯 ②匈奴 ③鮮卑 ④楚 ⑤氐

〔設問10〕 下線部(10)に関連して、世界的な石造建築として知られるボロブドゥール寺院が造営された島の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **10** にマークしなさい。

- ①スマトラ島 ②ボルネオ島 ③ジャワ島 ④ミンダナオ島
⑤ルソン島

〔設問11〕 下線部(11)に関連して、百済に関する記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **11** にマークしなさい。

- ①朝鮮の三韓の一つである馬韓の地域で成立した。
②世界最古の金属活字を用いた。
③訓民正音が考案された。
④白村江で百済の遺臣が日本とともに、隋と新羅の連合軍と戦った。

〔設問12〕 下線部(12)に関連して、東晋の都はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **12** にマークしなさい。

- ①杭州 ②洛陽 ③泉州 ④長安 ⑤建康

〔設問13〕 下線部(13)に関連して、新羅に関する記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **13** にマークしなさい。

- ①現在の釜山に都を置いた。
- ②仏国寺を建立した。
- ③身分制度として骨品制を設けた。
- ④唐にならい律令制をしいた。

〔設問14〕 下線部(14)に関連して、この年、唐は中央アジアのタラスでイスラームの王朝と戦っているが、その王朝はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **14** にマークしなさい。

- ①カラ・ハン朝 ②アッバース朝 ③セルジューク朝
- ④マムルーク朝 ⑤サーマーン朝

〔設問15〕 下線部(15)に関連して、渤海の建国者の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **15** にマークしなさい。

- ①完顔阿骨打 ②大祚榮 ③李元昊 ④オゴデイ ⑤フレグ

〔設問16〕 下線部(16)に関連して、契丹に関する記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

- ①耶律大石が契丹を建国した。
- ②独自の契丹文字を生み出した。
- ③宋と澶淵の盟を結んだ。
- ④遊牧民などには部族制，農耕民には州県制による二重統治体制をしいた。

〔設問17〕 下線部(17)に関連して、8世紀の唐に関する記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ①玄宗が皇帝に即位した。
- ②塩の専売制を実施した。
- ③黄巢の乱が起こった。
- ④両税法を施行した。

〔設問18〕 空欄 **18** に入る語句はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **18** にマークしなさい。

- ①後唐 ②後梁 ③後漢 ④後晋 ⑤後周

〔設問19〕 下線部(19)に関連して、唐において力強い書風で書道史に変革を起こした人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **19** にマークしなさい。

- ①白居易 ②呉道玄 ③韓愈 ④顔真卿 ⑤柳宗元

〔設問20〕 下線部(20)に関連して、12世紀に起こった出来事として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

- ①マレー半島南西部にマラッカ王国が成立した。
- ②タイ北部にスコタイ朝が成立した。
- ③白蓮教徒により紅巾の乱が起こった。
- ④宋が金との戦いで都の開封を占領され、徽宗と欽宗が捕虜となった。

- Ⅱ 以下のフランスの第二帝政と都市空間の変容に関する文章を読んで、〔設問21〕～〔設問35〕に答えなさい。解答は解答欄 21 ～ 35 にマークしなさい。

フランスの第二帝政はどのような歴史的評価がなされてきたのだろうか。かつて、ナポレオン3世の帝政は反人民的な独裁国家と見なされていた。つまり、ブルジョワジーが単独で国民を統治する能力を失う一方、労働者はまだ政権を掌握する能力を身につけていない状況で、この隙間をぬってルイ＝ナポレオンが保守的な小土地所有者に依拠して独裁権力を握った、というのである。この第二帝政のネガティブなイメージは、その後の第三共和政の知識人の言説や、同時代の⁽²³⁾ヴィクトル＝ユゴーがルイ＝ナポレオンのクーデタに反対して、第二帝政崩壊まで亡命生活を送ったという事実によって補強されてきた。

とはいえ、実証研究の進展とともにそうした第二帝政像は影を潜め、現在では出版統制や治安警察に代表される権威原理と、⁽²⁴⁾普通選挙や人民投票などの人民原理の融合に基づいて、産業的・市民的なフランスの栄光を実現しようとした時期だと理解されている。ここでは都市の改革を中心に、第二帝政が人々にどのような変化をもたらしたのか検討してみたい。

19世紀半ばのフランスは産業革命の完成期にあたり、かつてない高度成長を遂げた。『貧窮の絶滅』の著者として「馬上の 23 」と称されたナポレオン3世は、産業発展が社会的進歩をもたらすという 23 主義を受容し、⁽²⁴⁾運河建設などの河川交通などを整備し、さらに鉄道・道路建設などの運輸網を拡充した。これにより、ヒト・モノ・情報のネットワークが全国規模に拡大し、パリと地方都市、地方都市と農村、そして都市間の心理的な距離を縮めることとなった。その結果、パリを中心とする文化統合の基盤が整えられ、それまで自分の住む地域に対するアイデンティティしか持たなかった人々に、「フランス」や「フランス人」という意識を浸透させた。

こうした一連の土木事業は大量の労働力を必要とし、一挙に首都パリを膨張させた。1846年には人口100万人を突破し、都市機能は^{まひ}麻痺状態に陥った。労働者は、一般的に低所得者層が密集する地域に流れ着き、市内中心の労働者街や市外

壁の場末に劣悪な住環境を生み出すこととなった。統治者にとって、この貧民窟は不衛生と犯罪、コレラとバリケードの巣窟でしかなかった。機能不全に陥ったパリの大改造に挑んだのが、ナポレオン3世とセーヌ県知事の 27 であった。27 は、市中心部の曲がりくねった狭い街路や貧民窟を一掃し、広く直線的な大通りを東西南北に走らせ、道路交通網を徹底的に整備した。また、街路照明を大幅に増設し、建物の高さを一定に規制、さらに市内の要所に広大な広場や公園を配置するなど、都市の景観にも配慮した。「花の都パリ」のイメージはこのとき誕生したと言っていいだろう。また、公衆衛生という点で極めて重要な上下水道の整備も第二帝政下で行なわれ、上水と下水を分離することで衛生状態の改善が図られた。

「明るくて清潔な都市」の出現は、ナポレオン3世の望みに応えたものであると同時に、都市ブルジョワの志向にも合致するものであった。これほどまでに大胆な都市空間の改造は、それまでの近隣関係を解体し、社会関係の再編を迫るものだった。例えば、区画整理で市中心部を追われた民衆は、投機のため家賃が高騰した市内に戻ることが出来ず、市周辺部の新開地に移住せざるを得なくなった。民衆層における住宅難と階層別住み分けが深まったのであった。また、第二帝政下では2度、パリ万国博覧会が開かれ、首都の近代的変容を誇示する機会となった。ロンドン万国博覧会への強い対抗心から開催されたパリ万博は、新しい流行の発信の場となったが、その消費文化の担い手として台頭したのが、パリのブルジョワたちであった。1852年に世界初のデパート「ボン・マルシェ」が開店し、万博において賞を授与された製品は、最新の流行品として、こうしたデパートに陳列された。

このような経済的繁栄に加え、ナポレオン3世は外交的栄光を追求した。クリミア戦争をはじめとした一連の外交的成功は、帝政支配の正統性を国民に証明する儀式でもあった。一方、アメリカ大陸への進出から雲行きが怪しくなっていた。アメリカ合衆国が南北戦争のため介入できないであろうという計算のもと、メキシコの共和政府を倒し、さらに南の中央アメリカに運河をつくってふたつの大洋を結び、オーストリア皇帝の弟マクシミリアンを傀儡皇帝にすえてカトリック帝国を樹立しようとしたのである。しかし、メキシコ側のファレスを支持する

民衆のゲリラ戦を前にやむなく撤退を決定し、マクシミリアンがメキシコ側に処刑されたことは、ナポレオン3世の威信を著しく傷つけた。さらに、1870年の普仏戦争でナポレオン3世自身が捕虜になり、敗北したことで、第二帝政がここに瓦解した。同時に臨時国防政府が成立したが、こちらも翌年には降伏した。屈辱的な講和に対し、蜂起したパリ民衆はパリ・コミューン⁽³⁴⁾を樹立したが、ティエール⁽³⁵⁾を首班とする臨時政府は、狭い道を一掃しバリケードを築くことを不可能にしたパリ改造のおかげもあり、わずか72日でコミューンを鎮圧した。

〔設問21〕 下線部(21)に関連して、この人物はロマン主義の文学者として知られるが、ロマン主義の芸術家とその作品の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 21 にマークしなさい。

- ①プーシキン　－『大尉の娘』
- ②ドラクロワ　－「ナポレオンの戴冠式」
- ③ダヴィド　　－「民衆を導く自由の女神」
- ④ワーズワース－『フランケンシュタイン』
- ⑤ハイネ　　－『ドイツ語辞典』

〔設問22〕 下線部(22)に関連して、普通選挙についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 22 にマークしなさい。

- ①フランス革命中の1792年、男性普通選挙によって国民議会が成立した。
- ②イギリスにおける男性普通選挙は、1918年の第3回選挙法改正で実現した。
- ③ピューリタン革命中、独立派は普通選挙による共和政を主張した。
- ④ヴァイマル憲法では、男女平等の普通選挙が規定された。

〔設問23〕 空欄 **23** に入る社会主義者の名はどれか。この人物は、アメリカ独立戦争に義勇兵として参加した。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **23** にマークしなさい。

- ①エンゲルス ②マルクス ③サン=シモン ④ブルードン
⑤フーリエ

〔設問24〕 下線部(24)に関連して、国外の運河建設の一例としてフランス政府が株式を所有したスエズ運河会社によるスエズ運河開削があるが、この運河についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- ①フランス人のレセップスが主導し1869年に開通させた地中海と黒海を結ぶ運河である。
②スエズ運河会社の株式は、フランス政府とエジプト政府が所有したが、1875年にイギリスは首相グラッドストンの下、財政難のエジプト政府から株式を購入し、エジプトへの介入を強めた。
③イギリスは1881～82年のムハンマド=アリー^リの運動を鎮圧し、エジプトを軍事占領して、スエズ運河の支配権を握った。
④1952年にエジプト革命が起こり、革命を率いた将校ナセルが政権を握り、スエズ運河の国有化を宣言すると、イギリス・フランス・イスラエルとの間でスエズ戦争が勃発した。

〔設問25〕 下線部(25)に関連して、この病に罹患^{りかん}して1831年に死亡した哲学者の名はどれか。この哲学者は、あらゆる事物は内部に矛盾をはらみ、この矛盾を原動力として発展すると唱えた。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- ①ヘーゲル ②マルサス ③ランケ ④コント ⑤ベンサム

〔設問26〕下線部(26)に関連して、バリケードが多数築かれた戦闘として二月革命がある。二月革命がヨーロッパに与えた影響についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- ①中部イタリアでは共和政をめざしてローマ共和国が成立し、そこにマルセイユで秘密結社カルボナリを結成したマッツイーニも加わったが、フランス軍に鎮圧された。
- ②オーストリア帝国は多民族を抱えていたため、各地で民族主義の運動が噴出し、マジャール人のハンガリーではコシューシコらが蜂起した。
- ③イギリスでは、政治への参加資格を求めた史上初の労働者による組織的なラダイト運動が頂点を迎えた。
- ④ベルリンでは三月革命が起き、プロイセン国王は憲法制定を約束し、自由主義者の内閣が誕生した。

〔設問27〕空欄 **27** に入る人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **27** にマークしなさい。

- ①オスマン ②ダントン ③テュルゴ ④ラ=ファイエット
- ⑤バブーフ

〔設問28〕下線部(28)に関連して、古代ローマ時代には既に上水道施設が建設され、水源地から都市部へ水を供給していた。現在、世界遺産にも指定されているガール水道橋が水を供給していたフランス南部の都市の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- ①ポンペイ ②ミラノ ③ニーム ④セゴビア ⑤カルタゴ

〔設問29〕下線部(29)に関連して、歴史におけるブルジョワあるいはブルジョワジーについての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ①中世においてブルジョワは、「城砦都市の住民」を意味していた。
- ②近世からフランス革命期にかけて、ブルジョワジーは財産と教養をもった第二身分の意味で用いられた。
- ③近世のブルジョワが旧来の支配層と争う際に武器の一つとしたのが言論であり、それはサロンやカフェなどの知的社交の場で展開された。
- ④19世紀には、ブルジョワジーは無産の労働者に対する「資本家」の意味を帯びるようになった。

〔設問30〕下線部(30)に関連して、第二帝政のパリ改造が残した民衆の住宅問題は、20世紀になるとより深刻化した。欠陥のある宅地を甘受せざるを得ない民衆層は、1930年代には共産党など左派勢力の強固な支持基盤となった。1936年にはファシズムに対抗し、左派政党が連携して人民戦線内閣が誕生するが、その首相の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ①フランコ ②ホルティ ③ド=ゴール ④ブルム ⑤ペタン

〔設問31〕下線部(31)に関連して、第二帝政期に開催されたパリ万国博覧会についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ①5000個の電灯に飾られた電気館は、万国博覧会の名物となり、「電気の世紀」の開幕を告げるものとなった。
- ②エッフェル塔が建設され、「鉄の時代」を象徴するものとなった。
- ③水晶宮と呼ばれる鉄骨とガラス造りの巨大な建物が、万国博覧会の会場となった。
- ④江戸幕府などが日本の美術工芸品を出品し、ジャポニズムが巻き起こる契機ともなった。

〔設問32〕 下線部(32)に関連して、1853年から始まるクリミア戦争についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ①世界初の戦場写真がイギリス側によって撮影された。
- ②イギリス人看護師のナイティンゲールの活動に刺激を受け、スイスのデュナンが国際赤十字運動を提唱した。
- ③ロシア黒海艦隊はセヴァストポリスを拠点とし、イギリス・フランス軍との攻防戦が展開された。
- ④この戦争の結果、ロシアはトルコに対し、ボスフォラス・ダーダネルス両海峡の自由通過権を認めさせた。

〔設問33〕 下線部(33)に関連して、フアレスの下でも活躍した人物で、1876年のクーデタで大統領に就任し、長期の独裁体制を敷いたのち、メキシコ革命で大統領の座を追われた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ①ディアス ②マデロ ③サパタ ④ビリャ ⑤イダルゴ

〔設問34〕 下線部(34)に関連して、「マクシミリアンの処刑」という絵が描かれたが、その作者の名はどれか。この人物は「近代絵画の父」と呼ばれ、「草上の昼食」の作者でもある。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **34** にマークしなさい。

- ①モネ ②マネ ③ルノワール ④ミレー ⑤ゴッホ

〔設問35〕 下線部(35)に関連して、パリ・コミューンの市街戦の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

- ①血の月曜日事件 ②血の週間 ③8月10日事件 ④六月蜂起
- ⑤レジスタンス

- Ⅲ 以下のアメリカ合衆国に関する文章を読んで、〔設問36〕～〔設問50〕に答えなさい。解答は解答欄 36 ～ 50 にマークしなさい。

1890年、アメリカ合衆国（以下、アメリカ）連邦政府統計局は「フロンティアの消滅」を宣言した。ヨーロッパ諸国からの土地購入やメキシコとの戦争を経ながら、アメリカの国土は短期間で急激に膨張し、西部に広大な土地が開かれた。⁽³⁶⁾ 連邦政府は西部への積極的な入植政策を推進し、土地を持たない貧しい入植者の間には西部を目指す気運が盛り上がっていった。そのような中で交通手段としての鉄道敷設の拡大は人やモノの移動を格段に容易にし、東海岸から中西部を経て西海岸までが鉄路で貫かれただけでなく、あらゆる方向へ線路が延びることによってさまざまな地域の有機的結びつきが可能となった。

「フロンティア消滅」宣言はまた、アメリカ史の理解に強い影響を与えた。若き歴史家フレデリク＝ジャクソン＝ターナーが1893年に著した「アメリカ史におけるフロンティアの重要性」はアメリカ史をどのように理解するかという基本的枠組みとして長く維持されることとなった。ターナーは厳しくも広大な自然環境を有するフロンティアとしての西部の存在が、この地を目指す人びとの間に旺盛な独立心と個人主義の意識を涵養し、アメリカ独特の精神文化と民主主義を形づくったと論じた。しかし、ターナーのフロンティア理論は西部への植民が先住民⁽³⁹⁾の暴力的掃討と軌を一にしていたことに言及しておらず、植民活動における女性の役割についても触れておらず、白人男性中心の歴史観という側面が強いものであった。実際には「フロンティアの消滅」は、先住民の抵抗を鎮圧し終えたことを意味しており、掃討の過程で得た広大な土地は植民活動の格好の対象となり、もはや連邦政府の権力が及ばない辺境はない段階に達したという国家の自信を示したことがその内実であったと言えよう。

「フロンティア消滅」が宣言された1890年は別の面でも画期であった。海軍大学の教官アルフレッド＝マハンが1660年から1783年までのヨーロッパにおける海上覇権の歴史を論じた『海上権力史論』⁽⁴⁰⁾も1890年に発表されていた。マハンとは2年後にもその続編を出版するなど1914年に亡くなるまで海事史に関する多くの著作を執筆し、国内だけでなく海外の軍事政策にも強い影響を与えた。一連の研

究においてマハンが強調したのは、世界でアメリカが覇権を築くには、海上における絶対的優位性の確保がいかに重要かということであった。それを支えるのは最新鋭の技術に裏打ちされた強力な海軍⁽⁴¹⁾であり、それがあってこそ海を介した交易を優位に展開できるのであり、世界における圧倒的地位の確保につながるというのである。

このマハンの理論は、急速に国土を膨張させ、勢いそのままに海外市場の獲得にも踏み出そうとしていたアメリカにとって、その方策を明示する道標となった。この頃までにアメリカは政治的にも経済的にも、そして軍事的にも大西洋だけでなく、カリブ海、そして太平洋に積極的に打って出ていく力を身につけていたのである。海外に覇権を築こうとするアメリカにとって1898年の米西戦争はその重要な契機となった。「素晴らしき小さな戦争」とも呼ばれるスペインとの短い戦争は、アメリカに多大な成果⁽⁴²⁾をもたらした。スペインが領有していた植民地を支配下に置いたアメリカは、以降カリブ海と太平洋への進出を強め、第一次世界大戦⁽⁴³⁾で疲弊したヨーロッパ諸国を尻目に世界随一の大国としての地位を得ていくのである。

アメリカが世界で揺るぎない覇権を築くために海軍力の強化と制海権の確立が不可欠と考えていたのはセオドア・ローズヴェルト⁽⁴⁴⁾も同様であった。マハンの著作を高く評価していたローズヴェルトは、米西戦争が始まると海軍次官の職を辞し、自ら義勇軍「ラフ・ライダーズ」を組織して戦地に乗り込み、スペイン軍と戦った。こうした「勇猛果敢」で「男らしい」直接行動は国民の間でローズヴェルトの人気を高め、1901年には大統領に就任することとなった。大統領に就任したローズヴェルトは、軍事介入を含む中南米諸国に対する露骨な干渉を推進し、ローズヴェルト以後の大統領もこうした強圧的政策を維持した。ローズヴェルトは交通の要衝であったパナマ運河⁽⁴⁵⁾の建設に力を注ぎ、結果として1914年にアメリカはパナマ運河の管理権を手に入れた。第一次世界大戦後のパリ講和会議⁽⁴⁶⁾でのアメリカの立場は、公正な講和と植民地統治における現地の人々の意思を尊重するというものであったが、中南米諸国に対してはそれとは裏腹の政策が適用されていた。

こうしたアメリカの覇権拡大は第二次世界大戦への参戦を前にしてより明瞭な

形で表された。稀代のメディア王ヘンリー＝ルースが雑誌『ライフ』（1941年2月号）に発表した論文「アメリカの世紀」がそれである。アメリカはヨーロッパ情勢に積極的に関与すべきであり、そのために強力な軍事力と経済力を行使することを主張するルースは、アメリカがイギリスになりかわって世界の真のリーダーとしてふるまうべきとし、「自由と民主主義」という理念を世界に普及することを訴えた。

果たして、戦後世界ではルースの主張が実践されることとなった。すでに強い影響力を及ぼしていた中南米に加え、伝統的にヨーロッパ帝国主義の影響下に置かれてきた中東にも目を向けたアメリカは、イスラエル建国⁽⁴⁷⁾を強く支持して中東政策における重要な拠点を得るとともに、イランにも介入して親米政権を樹立した。

だが、第二次世界大戦後のアメリカのグローバルな覇権の展開は同時にそのほころびが始まったことを意味してもいた。長くヨーロッパ帝国主義の支配に置かれてきた地域では抵抗闘争が絶えることはなく、戦後はさらに高揚を見せていた。自らの裏庭のように扱ってきた中南米諸国でも同様であり、戦後、アメリカの意に沿わない政権が誕生する事態が続いた。1959年には親米独裁政権が支配していたキューバ⁽⁴⁸⁾で革命が達成された。この事態は、同じ状況にあった中南米諸国に多大なインパクトを与え、各地で革命運動や民族運動が活発化するとともに、それを押しとどめようとするアメリカの支援を受けた軍事独裁政権の弾圧が厳しさを増した。

中東においてもアメリカの覇権は揺らぎ始め、その典型はイラン⁽⁴⁹⁾であった。アメリカが支援する王朝のもとで近代化政策が行なわれていたイランでは宗教界を中心に格差の拡大や西洋化の傾向に反発が強まり、イスラームの教えに基づく社会の建設を求める動きが高揚した。1979年にイスラーム革命が起こると、革命を支持する勢力は444日間にわたってアメリカ大使館を占拠して大使館員を拘束した。極秘に行なわれた人質救出作戦は、救出に向かったヘリコプターに故障や墜落が発生して頓挫し、文字通りアメリカの権威の失墜を示した。すでにベトナム戦争に敗北して同地から撤退を余儀なくされていたアメリカの地位の低下は明白となり、「強いアメリカ」をスローガンに圧倒的な支持を受けて大統領選挙に勝

利したレーガン⁽⁵⁰⁾の下でも、その傾向に歯止めをかけることはできなかった。ルースの唱えた「アメリカの世紀」の理想は決して現実のものとはならなかったのである。

〔設問36〕 下線部(36)に関連して、アメリカの領土拡大についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- ①1803年、アメリカはフランスからルイジアナを購入した。
- ②1819年、アメリカはイギリスからフロリダを購入した。
- ③1845年、アメリカはテキサスを併合した。
- ④1867年、アメリカはロシアからアラスカを購入した。

〔設問37〕 下線部(37)に関連して、連邦政府の公有地に5年間定住して農業を営んだ者に160エーカーの土地を無償で譲渡することを定めた法律の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

- ①カンザス-ネブラスカ法 ②農業調整法 ③ワグナー法
- ④ドーズ法 ⑤ホームステッド法

〔設問38〕 下線部(38)に関連して、アメリカにおける人やモノの移動手段とその発展についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

- ①1807年にフルトンは蒸気船の実用化に成功した。
- ②1869年に最初の大陸横断鉄道が完成した。
- ③ベルトコンベア式生産により20世紀初めには自動車の大量生産が実現した。
- ④1975年にアメリカが打ち上げたアポロ11号は初めて月面着陸に成功した。

〔設問39〕 下線部(39)に関連して、先住民と連邦政府の関係についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

- ①1830年に成立したインディアン強制移住法によって先住民はオハイオ川以西に追放された。
- ②西部開拓に伴って土地を奪われた先住民の多くは保留地（居留地）に押し込められたが、部族文化の維持は認められた。
- ③連邦政府に対する先住民の組織的抵抗はアパッチ族のリーダーであるジェロニモの投降で終息した。
- ④1838年に始まるスー族の強制移住ではその過程で約4000人が死亡し、「涙の旅路」と呼ばれるほど悲惨なものであった。

〔設問40〕 下線部(40)に関連して、マハンは著作の中で多くの海戦を扱ったが、『ドン・キホーテ』の作者が参加したことでも知られている16世紀に起こったムスリム勢力とキリスト教勢力の間の海戦はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **40** にマークしなさい。

- ①ミッドウェー海戦 ②アクティウムの海戦 ③トラファルガーの海戦
- ④レパントの海戦 ⑤サラミスの海戦

〔設問41〕下線部(41)に関連して、その後世界は軍縮を含む新たな国際秩序に関する話し合いを始めるが、そのことについての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

- ①1921年から1922年にかけて開かれたワシントン会議では九か国条約が結ばれた。
- ②ワシントン会議で結ばれた四か国条約によって日英同盟は終了した。
- ③1922年のワシントン海軍軍縮条約ではアメリカ・イギリス・日本・ドイツの主力艦の保有比が決められた。
- ④1930年のロンドン海軍軍縮条約ではアメリカ・イギリス・日本の補助艦の保有比が決められた。

〔設問42〕下線部(42)に関連して、米西戦争の勝利によってアメリカが得た結果として、誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- ①スペインの植民地であったハワイを併合した。
- ②スペインの植民地であったグアムを獲得した。
- ③スペインの植民地であったキューバを事実上保護国化した。
- ④スペインの植民地であったプエルトリコを獲得した。

〔設問43〕 下線部(43)に関連して、第一次世界大戦における出来事の記述として、誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **43** にマークしなさい。

- ①1914年9月のマルヌの戦いでドイツ軍はフランス軍に進撃を阻止され、戦争は長期化の様相を見せた。
- ②開戦と同時にインフルエンザが世界中に拡がり、その死者は第一次世界大戦の戦死者と並ぶ1000万人に及んだ。
- ③開戦後まもなく東アジアで日本がドイツの租借地膠州湾の青島要塞とドイツ領南洋諸島を占領した。
- ④イギリスはオスマン帝国に圧力をかけるためアラブ民族運動を利用し、1915年にはアラブ地域の独立を約束する協定をメッカの太守フサインとの間で締結した。

〔設問44〕 下線部(44)に関連して、セオドア＝ローズヴェルト（以下、ローズヴェルト）を含むアメリカ大統領の就任順について、古いものから並べたものとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑧の中から一つ選び、解答欄 **44** にマークしなさい。

- ①ローズヴェルト→マッキンリー→タフト→ウィルソン
- ②ローズヴェルト→ウィルソン→マッキンリー→ハーディング
- ③ハーディング→ウィルソン→ローズヴェルト→タフト
- ④ハーディング→タフト→ローズヴェルト→マッキンリー
- ⑤マッキンリー→ウィルソン→ローズヴェルト→タフト
- ⑥マッキンリー→ローズヴェルト→タフト→ウィルソン
- ⑦タフト→ウィルソン→マッキンリー→ローズヴェルト
- ⑧タフト→マッキンリー→ハーディング→ローズヴェルト

〔設問45〕 下線部(45)に関連して、アメリカの支援を受けてパナマは1903年にある国から独立したが、この国はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ①エクアドル ②コスタリカ ③ベネズエラ ④コロンビア
- ⑤メキシコ

〔設問46〕 下線部(46)に関連して、パリ講和会議では連合国と敗戦国の間でそれぞれ条約が結ばれた。敗戦国と条約名の組み合わせとして誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ①ドイツ — ヴェルサイユ条約
- ②オーストリア — サン-ジェルマン条約
- ③ルーマニア — トリアノン条約
- ④オスマン帝国 — セーヴル条約
- ⑤ブルガリア — ヌイイ条約

〔設問47〕 下線部(47)に関連して、イスラエル建国をめぐる情勢の記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ①1948年にユダヤ人がイスラエル建国を宣言して始まった第1次中東戦争の結果、パレスチナ地域の約80%がイスラエルの支配下となった。
- ②パレスチナの委任統治権を有していたフランスは、アラブ人とユダヤ人の対立に苦慮し、国際連合に解決をゆだねた。
- ③1947年に国連安全保障理事会はパレスチナ分割案を決議したが、明らかにユダヤ人側に有利な内容であったため、アラブ人側は拒否した。
- ④アラブ地域の相互の連帯を強めるため、リビアなどアラブ7か国は1945年にアラブ連盟を結成した。

〔設問48〕 下線部(48)に関連して、キューバに関する記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **48** にマークしなさい。

- ①カストロらを指導者とするキューバ革命軍は山岳地帯で武装闘争を展開し、ペロン独裁政権を打倒した。
- ②キューバ革命の指導者の一人で、医師でもあったゲバラはアルゼンチンで生まれ育った。
- ③1959年の革命達成直後から革命政権はアメリカ系企業を国有化し、急速な社会主義路線をとった。
- ④アイゼンハワー政権は革命後もキューバと従来との関係を維持し続けたが、ケネディ政権は革命政権の武力転覆を狙うなど敵対を強めた。

〔設問49〕 下線部(49)に関連して、イランについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **49** にマークしなさい。

- ①1951年に首相に就任したサダトは石油の国有化を試みた。
- ②国王のパフレヴィー 2 世が進めた近代化政策は緑の革命と呼ばれる。
- ③イラン-イスラーム革命運動の中で国王が国外へ逃亡すると、代わって囚われの身であったイランのシーア派指導者のホメイニが釈放された。
- ④イラン-イスラーム革命の波及を恐れたイラクの侵攻によって1980年から始まった戦争は長期化し、1988年まで続いた。

〔設問50〕 下線部(50)に関連して、レーガン政権時に起きた出来事として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **50** にマークしなさい。

- ①ニカラグアの反体制派組織コントラ支援 ②グレナダ侵攻
- ③マルタ会談 ④プラザ合意 ⑤戦略防衛構想 (SDI) の発表